

編集後記

『駿河台大学論叢』55号が無事に刊行され、皆様にお届けできることを嬉しく存じます。これも編集委員全員のご協力の賜物です。心より御礼申し上げます。今号には、さまざまな分野からの論文や研究ノートが掲載され、充実した内容となっております。

研究を続ける時、アプローチ方法を工夫すると、新たな展望が開けることがあります。クラシック音楽の「展覧会の絵」は、ムソルグスキーがピアノ曲として作曲しましたが、生前には出版も初演もされませんでした。その後、ラヴェルが編曲したオーケストラ版で、一躍有名になりました。ラヴェルは、管弦楽の魔術師と呼ばれ、楽器を巧みに使い、豊かな音色を創り出しています。研究でも、一つのテーマを多面的に、粘り強く追いつけると、思いがけない発見に出会えるのではないのでしょうか。(K)

教養文化研究所所長 井上 久士

編集委員

清海 節子^(*)、鵜海 未祐子、長尾 建、ジョエル・マッシュューズ、鈴木 慶子、信岡 奈生

(*)は編集責任者

事務局担当 柳 恵理子

駿河台大学論叢 第55号

2017年12月26日発行

編集者 『駿河台大学論叢』編集委員会

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
電話042-972-1111 (代表)

発行者 駿河台大学教養文化研究所
所長 井上 久士

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
電話042-972-1111 (代表)

印刷者 山藤三陽印刷 東京支店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町
3-28-9 三東ビル6F
電話03-3518-4631
